

(第2号様式)

真和志第 2482 号
令和8年 2月9日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立真和志高等学校
校長 屋宜 宣安
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和7年7月15日(火)	場所	本校会議室	出席 状況	評議員4人中4人出席
第2回	日時	令和7年12月16日(火)	場所	本校会議室	出席 状況	評議員4人中3人出席
第3回	日時	令和8年2月5日(木)	場所	本校会議室	出席 状況	評議員4人中3人出席

2 学校評議員に求めた事項

- ①各学期における教育活動報告(生徒の活躍・進路指導状況・生徒指導状況等)に対する意見・助言
- ②学校経営ビジョンに対する意見・助言
- ③授業観察
- ④学校評価アンケートへの指導助言

3 学校評議員の意見

- ①アンケートの結果からも真和志高校の職員各々が、生徒と向き合っている様子が見える。
- ②課題を抱えた生徒が多く在籍しているが、今後は真和志高校はどのような方向性を持っているのか。
- ③他校は平和教育が活発化している状況がある、もっと生徒が大人と関わる機会の設定や地域と連携した取り組みを多く取り入れて欲しい。
- ④新聞やラジオ等で生徒の活発な活動が評価されていることを確認することができ、誇らしく思う。今後も生徒の活躍を楽しみにしている。

4 学校運営に反映した事項

- ①令和9年度に学科改編を予定している。生徒の進路(キャリア教育)を見据えて今後は、地域と連携した学校設定科目を開設する予定。
- ②県はセーフティーネット的な役割を担って欲しいと考えているため、生徒が抱えている課題を解決できるよう、今後も教育相談機能を充実していく。
- ③高大接続を図り、沖縄大学主催の平和教育等に生徒を参加させたりしている。当該生徒は平和教育普及に努めたいと意欲的に活動し、大学進学に繋がった。
- ④生徒の活躍や学校行事等をインスタグラム等で発信しており、今後も学校内の取り組み状況を保護者等が確認できるよう継続していきたい。

5 課題その他

- ①特色ある教育課程の編成として、令和9年度の学科改編に向けて、地域と連携した学校設定科目を開設するため、学校評議員(コミュニティースクール)との密な連携を行う。
- ②生徒の実態に即した、興味関心を持って学習できる学校設定科目を今後は、解説していく。
- ③課題を抱えた生徒の対応として、より良い人間関係構築やソーシャルスキルトレーニングが重要。